

2026年3月15日 発行

第35号

工務部会  
**こうむ**  
NEWS

J R東労組(東日本旅客鉄道労働組合)  
工務部会  
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-24-1  
代々木総合事務所 5階  
NTT 03-5315-0941 JR 058-4112  
発行人 杉本博輝 発行 編集委員会

# 800億円の使い道は？

工務部会主催の原因究明委員会において、社長会見の話題が取り上げられました。

2月10日に公表された「一連の輸送トラブルに対する弊社代表取締役社長コメント」では、

報道を通じて  
初めて知った

「2026年度の修繕費を増額し、2026年度末までに、  
コロナ期の影響を全て取り戻すべく交換・修繕を実施する」  
「コロナ禍だった2020～22年度の3年間では800億円ほど減額していた」  
「具体的な金額は4月にも公表する」



この間、現場では必要最低限の予算の中で、工夫と努力を重ね、なんとか維持してきたのは私たちが！



カギは  
現場力！

TBM(時間基準保全)からCBM(状態基準保全)へと移行するなか、設備の老朽化は確実に進んでいます。

果たして現在の工事に加えて追加の修繕を行う体力がパートナー会社や協力会社にあるのでしょうか。800億円をただ消費するだけでは意味がありません。大切なことは「修繕が滞っていた設備をいかに効率的に復旧させるのか」「設備故障を確実に減らすには何が必要なのか」という点であり、 unnecessaryな機器や物品の購入などで800億円を無駄にすることなく、**本当に現場を強くするための活きたお金**にしていかなければいけません。

もし「経費の使い方がおかしい」と感じるがありましたら、遠慮なく工務部会([jreu-koumu@outlook.jp](mailto:jreu-koumu@outlook.jp))まで連絡をください。

800億円を活かすも殺すも、現場でのたたかい次第です！！

安全で安心して働ける職場を未来に残すためにも

J R東労組に結集しよう！！